

# 令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	鶴見区
学校名	大阪市立榎本小学校
学校長名	山西 直樹

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立榎本小学校では、第6学年 171名

## 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校と全国、大阪市の平均正答率を比較すると、国語科は、全国平均より1.6ポイント下回り、大阪市平均とは同ポイントであった。算数科は、全国平均より2.2ポイント、大阪市平均より1ポイント下回っていた。理科は全国平均より3.3ポイント、大阪市平均とは同ポイントであった。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### [国語]

各領域・観点では、「話すこと・聞くこと」「言葉の特徴や使い方」が全国平均・大阪市平均と比べると下回っているものの、その他の領域、観点では全国平均を上回っている。

### [算数]

各領域・観点では、「データの活用」が全国平均・大阪市平均を大きく上回っているが他の領域・観点では全国平均並みか全国平均を下回っている。

### [理科]

全体的に全国平均を下回っているが、大阪市平均並みか上回っている。

今年度の結果については、学力向上部を中心に進めている朝学習の成果が表れたものと思われる。しかしながら、基礎基本の事項について十分定着することができないのが実態である。

質問紙調査より

国語科、算数科、理科ともに「授業の内容はよくわかりますか」という質問について、肯定的な回答が全国・大阪市平均を大きく上回っており、1時間の授業での理解度は上がっていると考えられる。しかしながら、平均正答率が全国平均にあと1歩のところで及ばない点については定着に課題があると考える。「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問では、「あまりしていない」「していない」という回答が全国平均より10ポイント以上多かった。また、「家庭での学習時間」については、「2時間以上」の回答は全国平均よりも上回っているが、約半数が1時間以下であり、家庭学習の取り組み方については二極化が見られるとともに今後の課題となる。

生活面では、「朝食を毎日食べる」という質問での肯定的回答は全国・大阪市平均よりは上回っている。

心の育成の面では、「自分にはよいところがある」という質問での肯定的回答は80%に満たないものの全国・大阪市平均並みである。また、「人が困っているときは進んで助けているか」「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思うか」「人の役に立つ人間になりたいか」という質問については全国平均を大きく上回り、他を思いやる気持ちや人権感覚が育ってきていると考える。

## 今後の取組(アクションプラン)

本校で学力向上部を中心に進めてきた取り組みについては、成果もみられることから今後も継続していく。

昨年度より、算数科の研究をすすめている。子どもたちが、主体的・対話的で深い学びを実現することのできる授業実践をめざしている。自力解決の力を育成し、「わかった！なるほど！ 楽しいな！」を体感させることで「数学のよさ」に気づかせたい。この取り組みをすすめることで、算数科において、より基礎・基本の定着も図りたい。

家庭学習の時間が少ない児童の割合が高いことについて、結果を踏まえ自主学習の取り組みを推進している。予習・復習を中心にキャリア教育につなげるためにも児童が多様な学びにも関心が持てるよう、学校と家庭の連携を図り学力の底上げを図りたい。

## 【 全体の概要 】

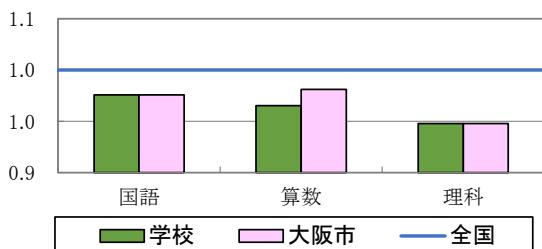
### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	64.0	61.0	60.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

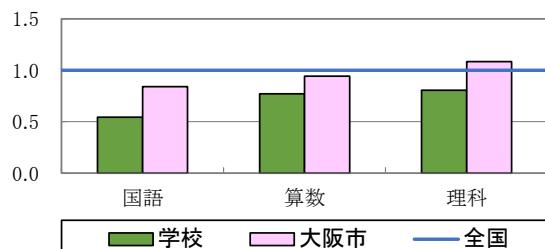
### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.1	2.7	2.9
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



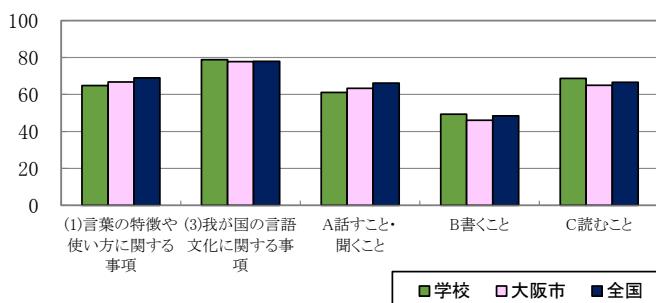
### 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	64.8	66.7	69.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	78.9	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	61.1	63.4	66.2
B 書くこと	2	49.4	46.0	48.5
C 読むこと	4	68.7	65.0	66.6

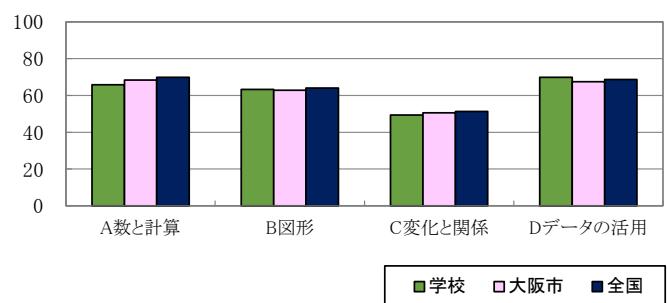
### 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	65.8	68.4	69.8
B 図形	4	63.3	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	49.3	50.5	51.3
D データの活用	3	69.8	67.5	68.7

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

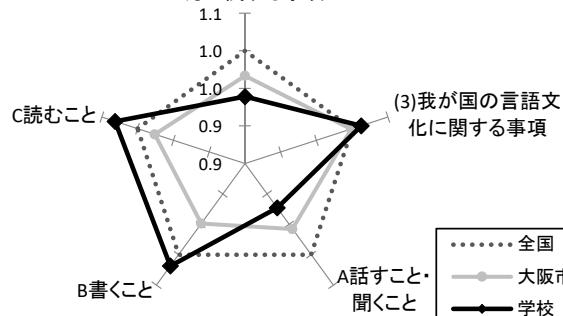


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



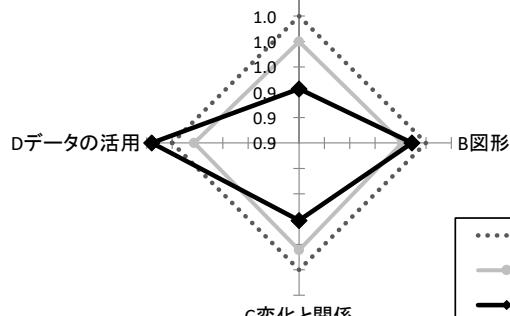
国語 領域別正答率(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項



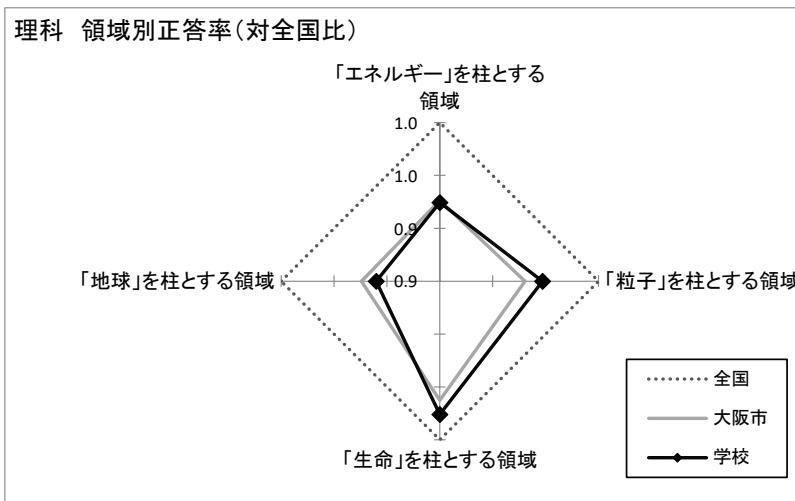
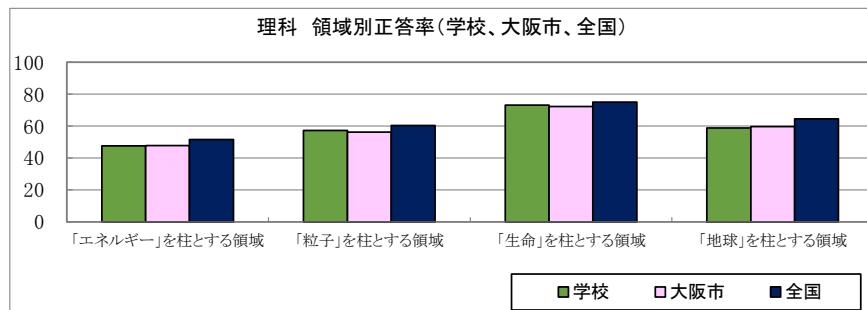
算数 領域別正答率(対全国比)

A数と計算



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	47.7	47.8
	「粒子」を 柱とする領域	5	57.2	56.2
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	73.2	72.2
	「地球」を 柱とする領域	5	58.8	59.7



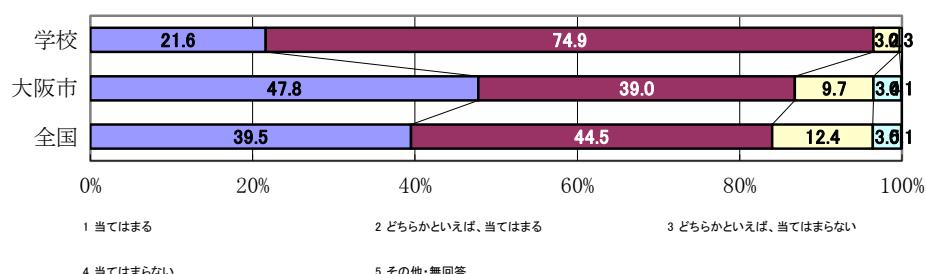
## 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

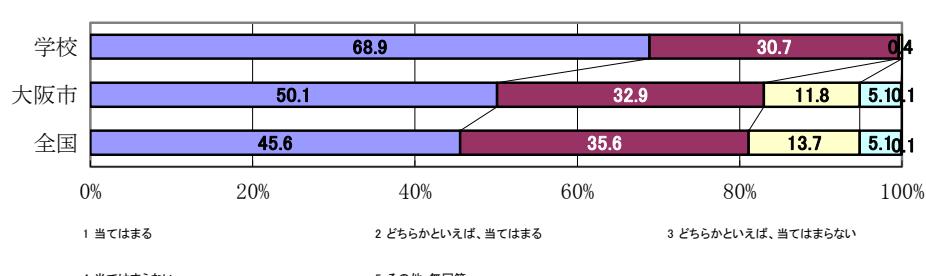
51

国語の授業の内容はよく分かれますか



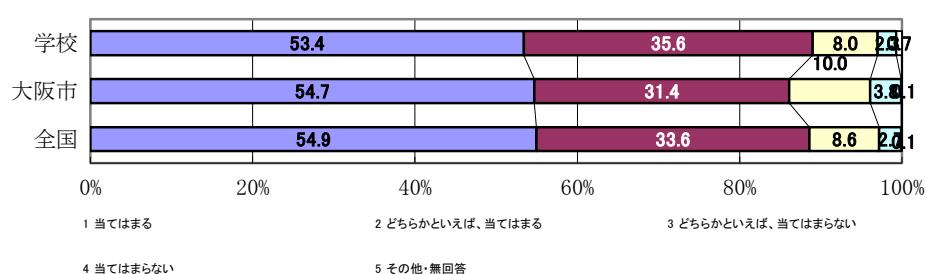
55

算数の授業の内容はよく分かれますか



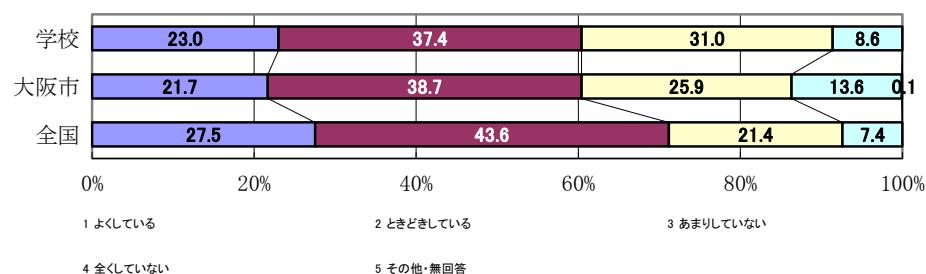
63

理科の授業の内容はよく分かれますか



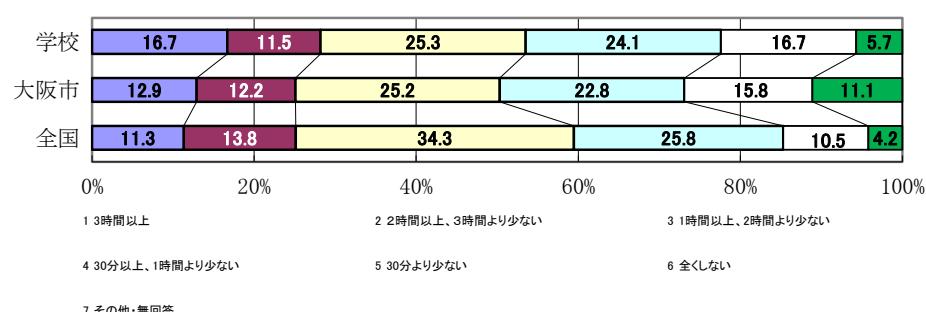
20

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



21

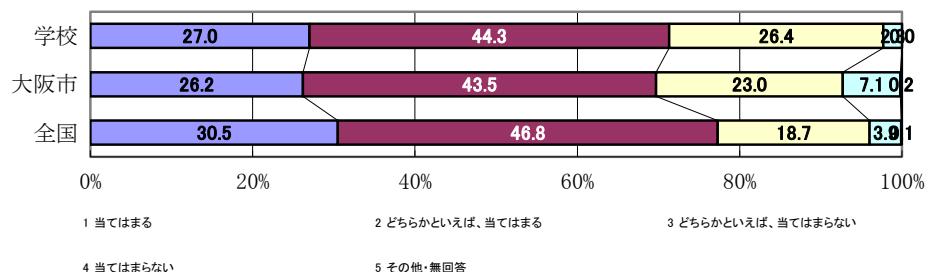
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



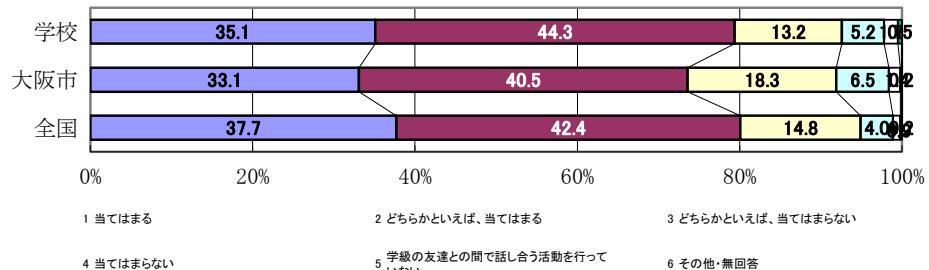
# 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

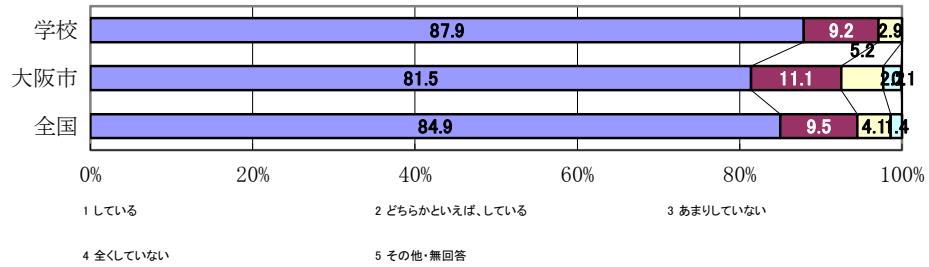
質問番号
質問事項
<b>39</b>
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



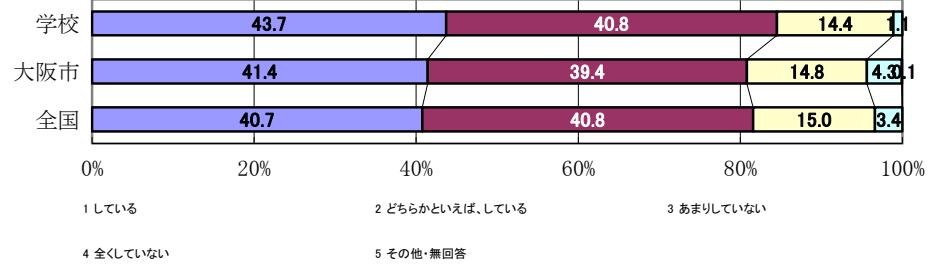
<b>43</b>
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



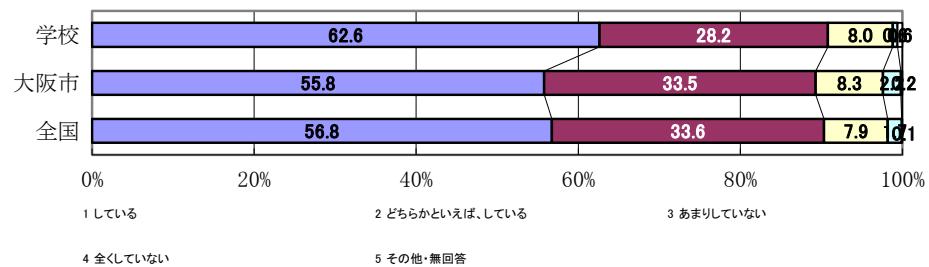
<b>1</b>
朝食を毎日食べていますか



<b>2</b>
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



<b>3</b>
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



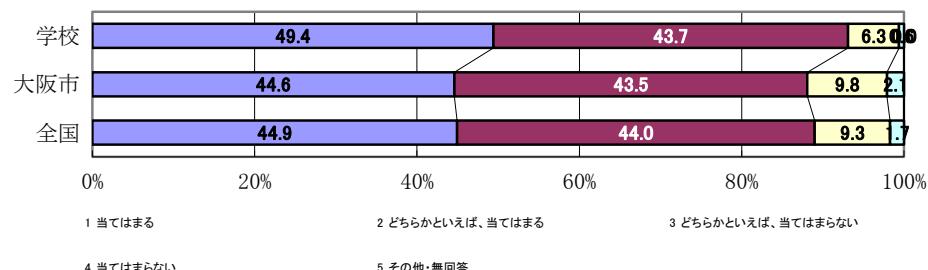
# 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

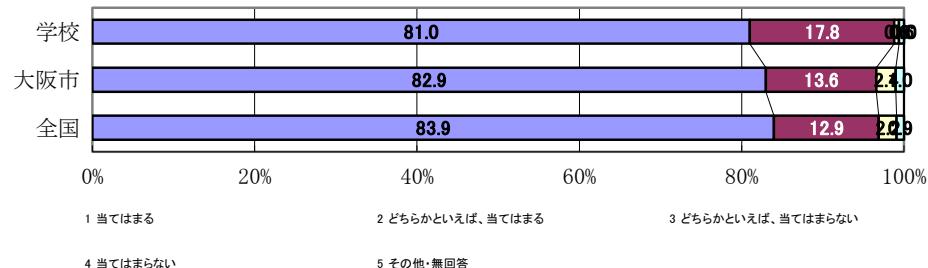
質問番号
質問事項

12

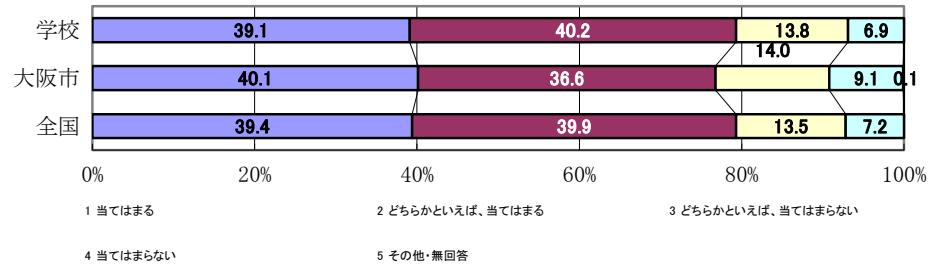
人が困っているときは、進んで助けていますか



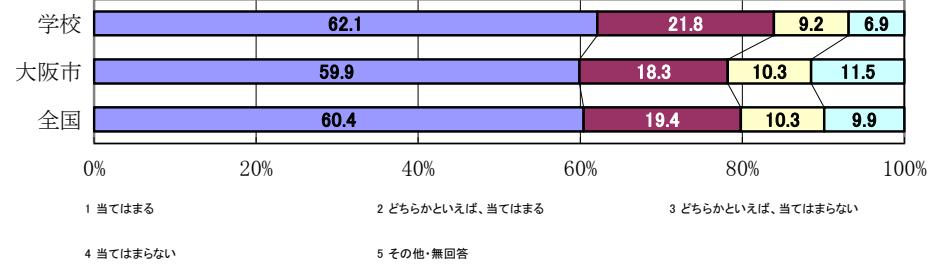
13
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



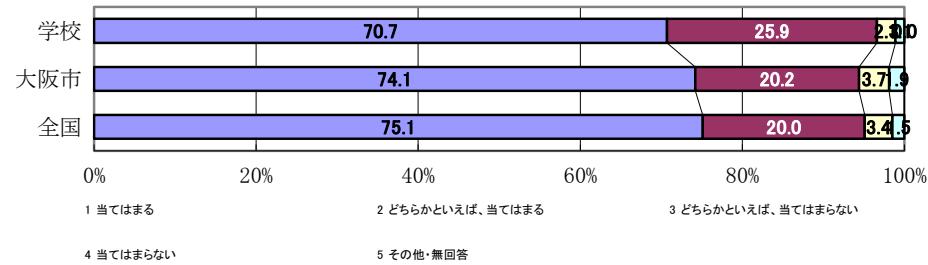
7
自分には、よいところがあると思いますか



9
将来の夢や目標を持っていますか



15
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



# 学校質問紙より

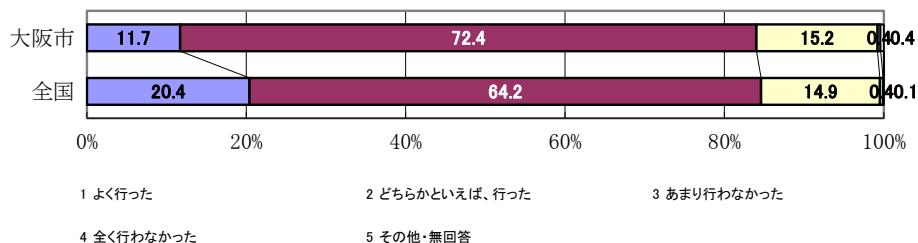
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

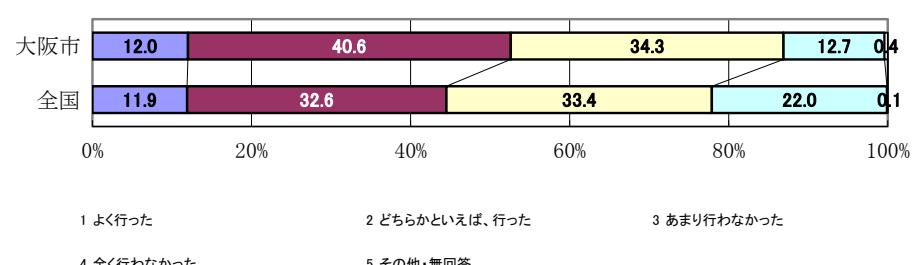
## 学校 「どちらかといえば、行った」を選択



71

令和3年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか

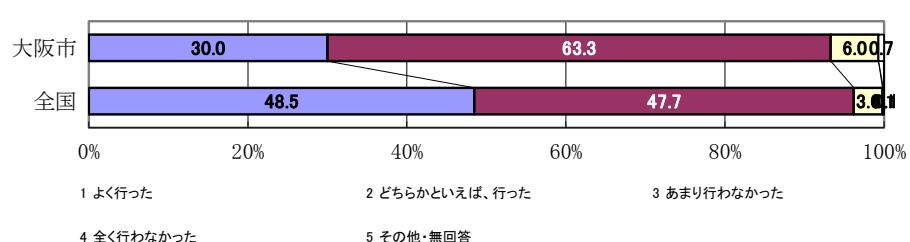
## 学校 「よく行った」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

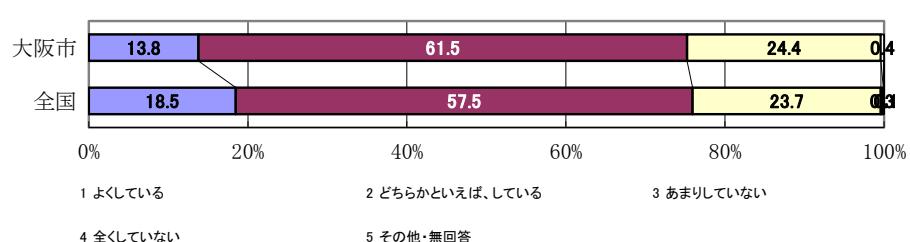
## 学校 「よく行った」を選択



21

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加しているですか(オンラインでの参加を含む)

## 学校 「どちらかといえば、している」を選択



56

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

## 学校 「ほぼ毎日」を選択

